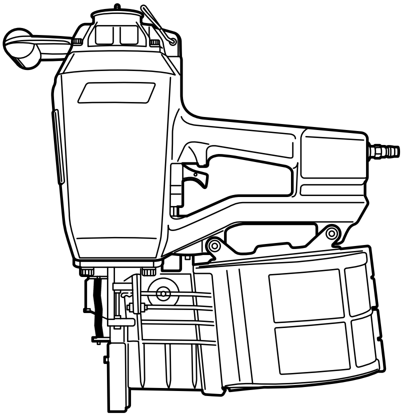
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

取扱説明書

梱包用エア釘打

モデル　HN500A



このたびは**エア釘打**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

本機の取扱いにあたって、エア釘打を能率よく、安全にお使いいただくため、取扱説明書は最後までお読みいただき、使用上の注意事項、本機の能力、使用方法などについて充分理解の上、正しく御使用くださるようお願いいたします。

⚠警告	この表示は記載事項に従わないと人身事故につながる可能性がある場合を示します。

⚠警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 必ずセーフティゴーグル（保護メガネ）を着用して使用する。
- 安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。
- 使用しない時、また、調整・修理・連結釘装填の時は必ずエアホースをはずす。
- 射出口を絶対に人体に向けない。
- 移動する際は必ずエアホースをはずす。
- エアホースを接続する際は絶対にトリガ（引金）に触れない。コンタクトアームに触れない。コンタクトアームを押さない。
- エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。
- 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管して下さい。
- 本機の仕様は性能向上のため、予告なしに変更することがあります。

目　次

仕様 ---------- 3
使用釘の種類 ---------- 3
標準付属品 ---------- 4
使用前の準備 ---------- 5
エア釘打を安全に使用するために ---------- 6
お使いになる前の準備 ---------- 13
使用法 ---------- 14
保守・点検 ---------- 16

1　仕様

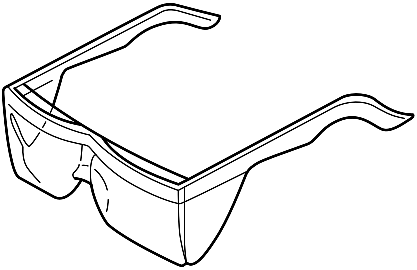
サイズ（H × L × W）	489 × 390 × 165mm
質量	7.0kg
使用釘長さ	ジャンボネイル 90 ～ 127mm
装填本数	150 本
使用空気圧	0.49 ～ 0.88MPa （5.0 ～ 9.0kgf/cm^2）

2　使用釘の種類

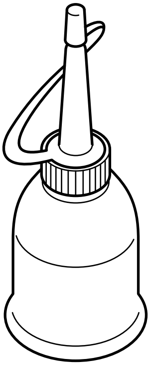
ジャンボネイル					
釘の種類		長さ	線径	頭径	部品番号
鉄	スムース	100	3.76	8.7	F-60048
		115	3.76	8.7	F-60051
		127	3.76	8.7	F-60064
	スクリュー	100	3.76	8.7	F-60080
		125	3.76	8.7	F-60093

3　標準付属品

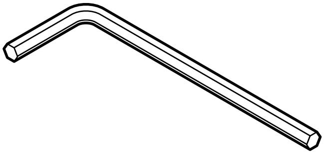
①油サシ ------------------------------ 1 個
②六角棒レンチ 1/4 ------------------- 1 個
3/16 ------------------- 1 個
5/32 ------------------- 1 個
9/64 ------------------- 1 個
③セーフティゴーグル（保護メガネ）------ 1 個
④エアプラグ ------------------------- 1 個



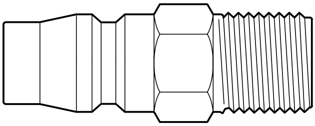
セーフティゴーグル
(保護メガネ)



油サシ



六角棒レンチ



エアプラグ

4　使用前の準備

エア釘打を安全に使用するために

⚠ 警告

エアホース
内径 6.5mm 以上のエアホースを 30m 以内でお使いください。

給油
付属の油サシにて作業の前後にエアプラグより、タービン油を 2 ～ 3 滴 (0.1cc) 注入してください。給油を怠るとエア釘打の寿命が短くなるばかりか、故障や事故の原因になりますので、必ず行ってください。

空気圧
空気圧の高低は釘の長さ、釘が打たれる対象物の木質によって異なります。
このエア釘打の使用圧力範囲は手元レギュレータゲージ圧で 0.49 ～ 0.88MPa (5.0 ～ 9.0kgf/cm^2) です。
対象物の木質により、この範囲内で調整してお使いください。

釘の点検
輸送時等に万一コイル形状がつぶれていたり、からまっていたり、連結が曲がっているような場合は、釘送りが不良になる恐れがありますので、釘を装填する前に点検してください。万一からまっていた場合は、それをほどき、コイルを巻き直して、マガジン内に装填してください。又、コイル形状がつぶれていたり、連結が曲がっているようなものは使用せず、正しい丸いコイル形状のものを使用してください。

5　エア釘打を安全に使用するために

⚠警告

1. **作業関係者以外近づけない。**
作業する場合には、作業者以外の人を近づけないでください。

2. **作業環境に応じた防具を着用のこと。**
作業環境に応じて、ヘルメット、安全靴等の防具を着用してください。

3. **正しい服装で安定した姿勢で作業をする。**
作業に適した服装で作業をしてください。又、無理な姿勢での作業は危険です。常に足場をかため、身体の安全を保って作業をしてください。

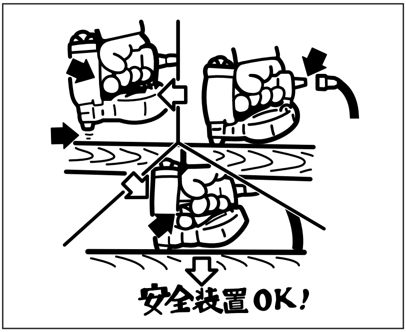
4. **作業に入る前に必ず始業点検を行う。**
各部のナット、スクリューボルト、ストッププリング等の締め金が緩んでいないか、その他部品がはずれたり傷んだりしていないかを点検してください。いずれの部品も、それぞれ大切な役目を果たしております。はずれたり、傷んでいると故障したり、思わぬ事故を起こしますので、充分注意して点検してください。

5. **給油及び圧力点検をする。**
指定の圧力より低いと、エア釘打の機能を果たしません。又指定の圧力を越えるとエア釘打の寿命を早めたり、危険が生じます。
給油は、作業の前後にエア釘打のエアプラグより、付属の油サシでタービン油(JIS2 種　ISOVG32) を 2、3 滴 (0.1cc) 注入してください。

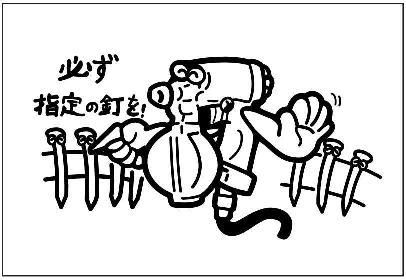
5　エア釘打を安全に使用するために

⚠警告

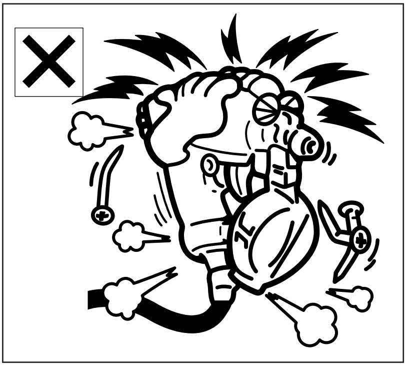
6. 安全装置（コンタクトアーム）が適確に作動するか点検し、作動しない場合は、使用しない。
下記の現象が発生した場合は、使用しないで下さい。
- ●トリガ（引金）を引いただけで作動する。
- ●コンタクトアームを押し付けただけで作動する。



7. 必ず当社指定の釘を使用する。
当社以外の釘を使用しますと、故障や事故の原因になりますから、必ず指定の釘を御使用ください。
尚、保管状態の悪いものは、使わないようにしてください。



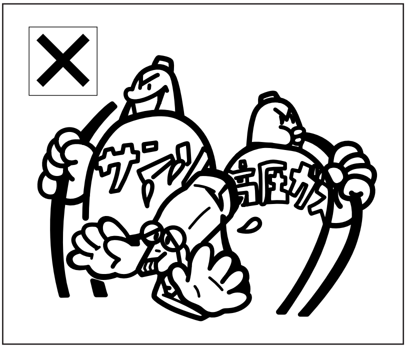
8. エアもれや異常音が無いかを確認する。
エアホースを接続したら、まず各部にエアもれが無いかを確認してください。
次に釘を打込んでください。釘が曲がったり、異常音を発生したりしないかを確認してください。エアもれのある機械や、その他異常のある機械は絶対に使わないでください。



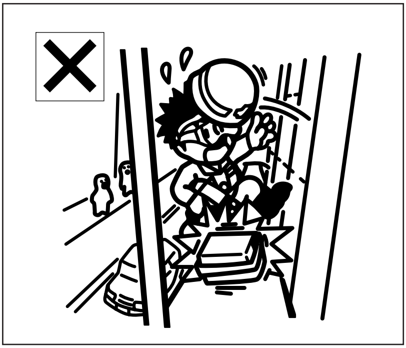
5　エア釘打を安全に使用するために

⚠警告

9. 動力源は必ず圧縮空気を使用する。
圧縮空気を動力源として使用し、酸素ボンベや高圧ガスボンベは絶対に使用してはいけません。使用するとエア釘打が爆発するおそれがあります。

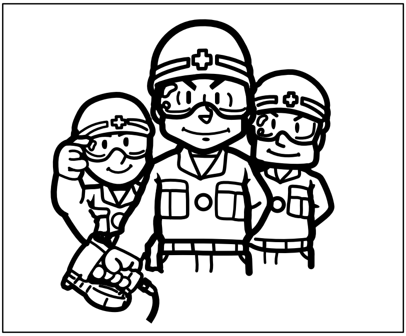


10. 作業現場は整理、整頓をして特に足元の整理に注意を払う。
屋外作業で足場を使っての高所作業では、足場の安全性を確認してから作業を行ってください。又、作業をする場所の照明は充分に明るくしておいてください。



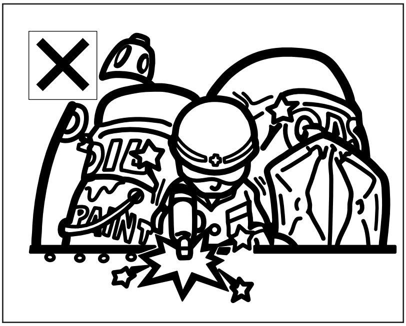
11. 作業中は常に保護メガネを着用する。
粉塵や、万一打ち損じた釘がはね返り、目に入ると危険ですから、作業をする本人だけでなく、周囲で作業をしている人も、必ず保護メガネを着用してください。

12. 防音保護具を着用する。
作業をする場合、排気音や排気エアから耳を守るため作業環境に応じて防音保護具（耳栓等）を着用してください。

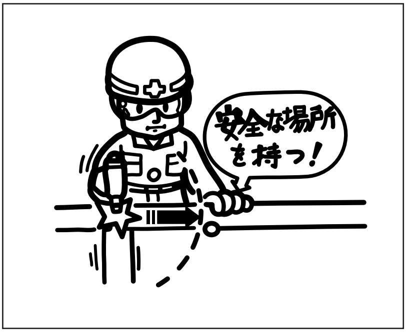


⚠警告

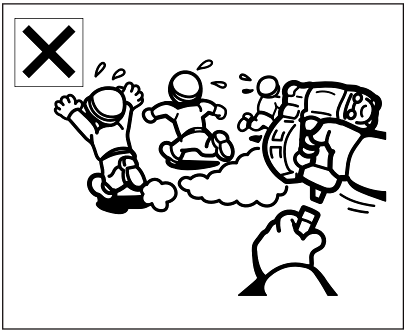
13. 危険物の近くでは作業をしない。
釘打込み時に火花が飛散することがありますので、ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス類、接着剤等、引火あるいは爆発の恐れがある物質の近くでは、絶対に作業をしてはいけません。



14. 射出口には、絶対に手を近づけないこと。また材料を手で支える時は充分注意する。
やむを得ず材料を手で支えなければならない時は、射出口付近から離し、かつ充分安全な場所を支えるようにすること。



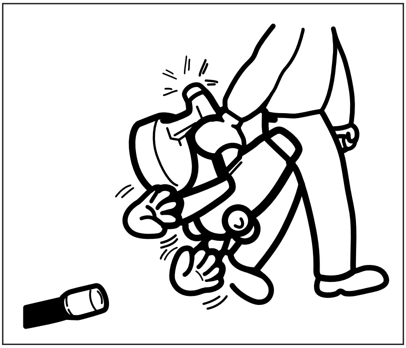
15. エアホース接続時は必ず下記を厳守する。
●トリガ（引金）に触れない。
●コンタクトアーム及びドライバガイドに触れない。
●コンタクトアーム及びドライバガイドを押し付けない。
●射出口を人体に向けない。



5　エア釘打を安全に使用するために

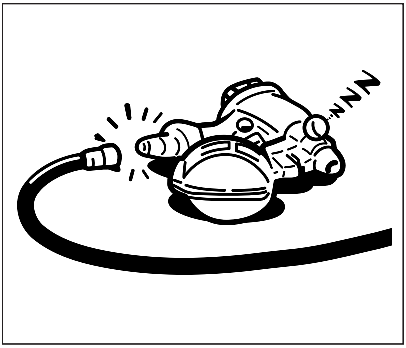
⚠警告

16. 移動する際は必ずエアホースをはずす。
エアホースを接続した状態でトリガ（引金）を引いたまま本機を持ち歩いたり、手渡し等をすると、誤って発射することがあり、思いがけない事故につながりますので移動する際はエアホースをはずしてください。

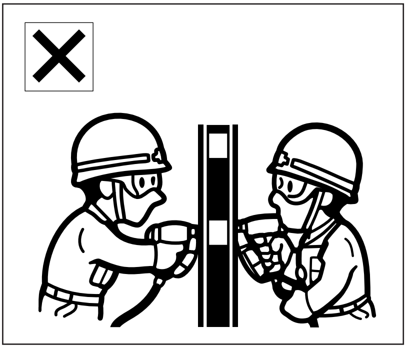


17. エア釘打を使用しない時は必ずエアホースをはずす。

18. 作業中断時は必ずエアホースをはずす。
作業中の釘装填、調整及び釘づまりを除去するとき、誤って釘を発射すると危険ですので、エアホースをはずしてください。

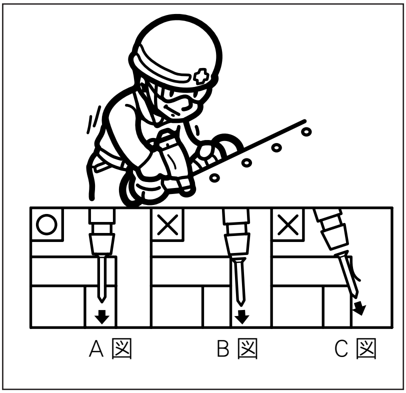


19. 射出口を向け合っての作業はしない。
相手の姿が見える場合はもちろん、見えない場合でも両側から向かい合っての同時打ちは大変危険です。



⚠警告

20. 縁を打つ場合の位置、方向に注意する。
A 図のように対象物に対して、垂直に押し付けられた状態を確認し、打ち込んでください。

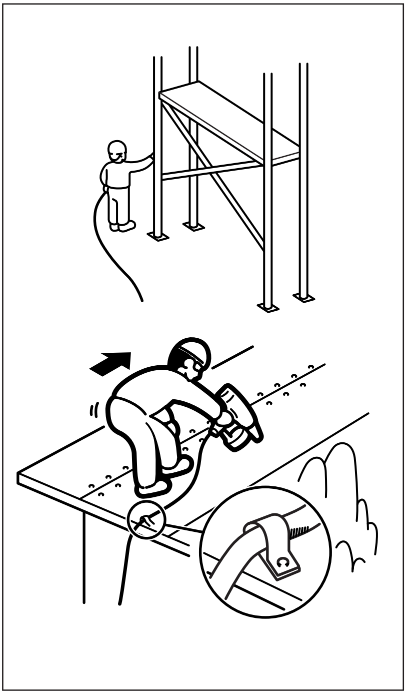


21. 機体の反動に注意する。
作業中はエア釘打の上方に顔などを近づけないようにする。一度打った釘、堅い木や節などを打つと機体が強く反動しますので、注意してください。

22. 作業中、エア釘打に異常が発見されたら、ただちに使用を中止する。
エアもれ、異常音、打込み不良、その他通常の時と違った現象が確認されたら、ただちに使用を中止し、点検・修理を受けてください。

23. 安全装置（コンタクトアーム）は絶対に改造したりしない。

24. 高所で作業をする場合、次のことを注意する。
●足場を使って作業をする場合、足場の安全性を充分確認して、作業をしてください。
●エアホースは作業をする場所の近くに固定してください。これは、ホースが引掛かったり、引っ張られたりすると反動で身体の安定を欠くことになり危険です。
●屋根などの傾斜面での釘打作業は、下から上に向かって前進しながら行ってください。後退しながら作業をすると、足を踏みはずす恐れがあります。



25. エア釘打の改造は厳禁。

5　エア釘打を安全に使用するために

⚠警告

26. 直射日光はさける。
エア釘打、エアコンプレッサ、エアホースなどを、長時間直射日光のあたる場所に放置しないでください。

27. 水がかかったまま放置しない
雨等で水分がかかったまま放置しておくとサビの発生の原因となり安全装置が正しく動作しなくなる恐れがあり大変危険です。水がかかった場合は水分をよくふき取り油等を塗り、サビの防止をしてください。

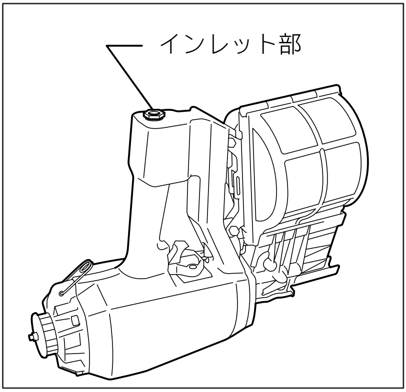
28. 使用後の注意事項
使用した後は、エアホースをはずし、釘を抜きとり、エアプラグからタービン油 (JIS2 種　ISOVG32) を 2、3 滴 (0.1cc) 注入してください。常温の乾燥した場所に保管してください。

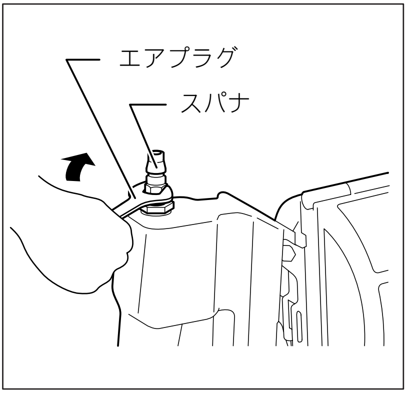
6　　お使いになる前の準備

エアプラグの取り付け

取り付け方

・ インレット部にエアプラグをスパナ等でしっかりと締め付けてください。



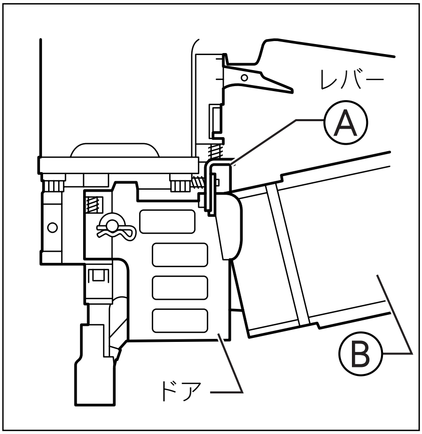


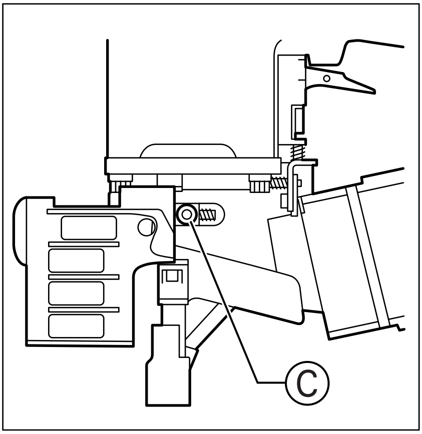
7　使用法

⚠警告	釘装填時はエアホースを必ずはずす。

釘の装填

A レバーを上に持上げると、ドアが左に開きます。次に B マガジンキャップを右に開きます。シート釘のスコッチテープを完全に剥がし、マガジン内に装填し、シートの一端をドライバガイドの釘を打つ位置に送り込み、シート背面の最初の刻み穴を C フィーディングクローに噛み合わせます。
釘帯がフィーディングクローに完全に噛み合っていることを確認し、マガジンキャップを閉めてからドアを閉じれば、釘の装填は完了です。





○発射方法

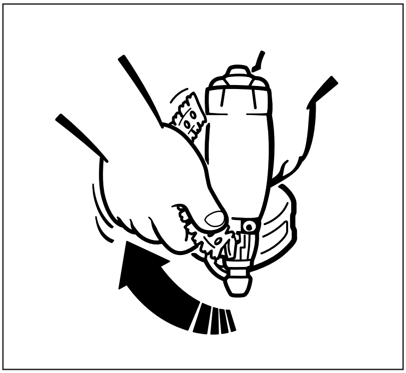
本機は単発式のトリガが取り付けられています。打とうとする位置にコンタクトアームを押し付けられてからトリガを引く方法でご使用ください。先にトリガを引いてからコンタクトアームを押し付けても打ち込みできません。なお、別販売品として連発用トリガセットを用意してあります。コンタクトアーム、トリガのどちらから作動させても打ち込むことができます。

7　使用法

⚠警告	シートを切りとる際はノーズアダプタ及びトリガ(引金)にふれない。

使用済みシートの切取り方

使用済みのシートはエア釘打の前方に出てきますから、作業の邪魔にならないように、必要に応じて切り取ってください。
シートの出口に近い所でシートを握り、すばやく上方へねじるようにして切取ってください。前方へ引張るような切り方は避けてください。



8　保守・点検

⚠警告	釘づまりの際エアホースを必ずはずす。

釘づまりの直し方

釘づまりが起こったら、必ずエアホースをはずしてください。次にドアを開け、マガジンから釘を取去ってください。ドアを開けた状態のまま、エア釘打を逆さにして、ドライバガイド先端からポンチを差し込み、ドライバを戻すようにハンマでたたいて、詰った釘を取り除きます。

使用後の清掃

使用した後は、エアホースをはずし、釘を抜きとり、エアプラグからタービン油(JIS2種　ISOVG32)を2～3滴(0.1cc)注入してください。常温の乾燥した場所に保管してください。

エアコンプレッサ等の水抜き

作業が終わったらエアコンプレッサの電源を切り、ドレンコックを開いて、タンク内の残圧によって溜った水を抜いてください。特に湿気の多い季節は想像以上に水が溜ります。作業後は毎日、水抜きを行ってください。

残り釘の保管

残った釘は釘ケースに納め、安全で常温の乾燥した場所に保管し、釘ケースの上に他の品物を乗せないようにしてください。

⚠警告	この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

メ　モ

メ　モ

全国に拡がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号
札幌支店	〈011〉(783) 8141
札幌営業所	〈011〉(783) 8141
旭川営業所	〈0166〉(29) 0960
釧路営業所	〈0154〉(37) 4849
函館営業所	〈0138〉(49) 9273
苫小牧営業所	〈0144〉(68) 2100
帯広営業所	〈0155〉(36) 3833
北見営業所	〈0157〉(26) 9011
仙台支店	〈022〉(284) 3201
仙台営業所	〈022〉(284) 3201
古川営業所	〈0229〉(24) 0698
青森営業所	〈017〉(764) 4466
八戸営業所	〈0178〉(43) 3321
盛岡営業所	〈019〉(635) 6221
水沢営業所	〈0197〉(22) 5101
郡山営業所	〈024〉(932) 0218
いわき営業所	〈0246〉(23) 6061
福島営業所	〈0243〉(22) 1204
新潟支店	〈025〉(247) 5356
新潟営業所	〈025〉(247) 5356
長岡営業所	〈0258〉(30) 5530
山形営業所	〈023〉(643) 5225
酒田営業所	〈0234〉(26) 3551
秋田営業所	〈018〉(863) 5205
宇都宮支店	〈028〉(634) 5295
宇都宮営業所	〈028〉(634) 5295
小山営業所	〈0285〉(25) 5559
水戸営業所	〈029〉(248) 2033
土浦営業所	〈029〉(821) 6086
埼玉支店	〈048〉(777) 4801
さいたま営業所	〈048〉(777) 4801
川越営業所	〈049〉(222) 2512
熊谷営業所	〈048〉(521) 4647
越谷営業所	〈048〉(976) 6155
前橋営業所	〈027〉(232) 5575
高崎営業所	〈027〉(365) 3688
両毛営業所	〈0276〉(46) 7661
千葉支店	〈043〉(231) 5521
千葉営業所	〈043〉(231) 5521
市川営業所	〈047〉(328) 1554
成田営業所	〈0476〉(73) 8101
木更津営業所	〈0438〉(23) 2908
柏営業所	〈04〉(7175) 0411

事業所名	電話番号
東京支店	〈03〉(3816) 1141
東京営業所	〈03〉(3816) 1141
中野営業所	〈03〉(3337) 8431
足立営業所	〈03〉(3899) 5855
大田営業所	〈03〉(3763) 7553
江戸川営業所	〈03〉(3653) 5171
多摩営業所	〈042〉(384) 8411
立川営業所	〈042〉(542) 1201
横浜支店	〈045〉(472) 4711
横浜営業所	〈045〉(472) 4711
川崎営業所	〈044〉(811) 6167
平塚営業所	〈0463〉(54) 3914
相模原営業所	〈042〉(757) 2501
湘南営業所	〈0466〉(87) 4001
静岡支店	〈054〉(281) 1555
静岡営業所	〈054〉(281) 1555
沼津営業所	〈055〉(923) 7811
浜松営業所	〈053〉(464) 3016
甲府営業所	〈055〉(276) 7212
金沢支店	〈076〉(249) 5701
金沢営業所	〈076〉(249) 5701
七尾営業所	〈0767〉(52) 3533
富山営業所	〈076〉(451) 6260
高岡営業所	〈0766〉(21) 3177
福井営業所	〈0776〉(35) 1911
岐阜支店	〈058〉(274) 1315
岐阜営業所	〈058〉(274) 1315
多治見営業所	〈0572〉(22) 4921
松本営業所	〈0263〉(85) 4751
長野営業所	〈026〉(225) 1022
上田営業所	〈0268〉(22) 6362
飯田営業所	〈0265〉(24) 1636
名古屋支店	〈052〉(419) 0561
名古屋営業所	〈052〉(419) 0561
豊橋営業所	〈0532〉(46) 9117
岡崎営業所	〈0564〉(22) 2443
知多営業所	〈0569〉(48) 8470
一宮営業所	〈0586〉(75) 5382
東名古屋営業所	〈0561〉(73) 0072
津営業所	〈059〉(232) 2446
四日市営業所	〈059〉(351) 0727
伊勢営業所	〈0596〉(36) 3210
京都支店	〈075〉(621) 1135
京都営業所	〈075〉(621) 1135
福知山営業所	〈0773〉(23) 7733
大津営業所	〈077〉(545) 5594
彦根営業所	〈0749〉(22) 6184

事業所名	電話番号
大阪支店	〈06〉(6746) 7220
大阪営業所	〈06〉(6746) 7220
東大阪営業所	〈06〉(6746) 7531
南大阪営業所	〈0725〉(46) 6611
奈良営業所	〈0742〉(61) 6484
橿原営業所	〈0744〉(22) 2061
和歌山営業所	〈073〉(471) 4585
田辺営業所	〈0739〉(25) 1027
沖縄営業所	〈098〉(874) 1222
兵庫支店	〈0794〉(82) 7411
三木営業所	〈0794〉(82) 7411
尼崎営業所	〈06〉(6437) 3660
神戸営業所	〈078〉(672) 6121
姫路営業所	〈079〉(281) 0204
広島支店	〈082〉(293) 2231
広島営業所	〈082〉(293) 2231
福山営業所	〈084〉(923) 0960
三原営業所	〈0848〉(64) 4850
岡山営業所	〈086〉(243) 4723
宇部営業所	〈0836〉(31) 4345
徳山営業所	〈0834〉(21) 5583
鳥取営業所	〈0857〉(28) 5761
松江営業所	〈0852〉(21) 0538
高松支店	〈087〉(867) 6411
高松営業所	〈087〉(867) 6411
徳島営業所	〈088〉(626) 0555
松山営業所	〈089〉(951) 7666
宇和島営業所	〈0895〉(22) 3785
高知営業所	〈088〉(884) 7811
福岡支店	〈092〉(411) 9201
福岡営業所	〈092〉(411) 9201
北九州営業所	〈093〉(551) 3481
飯塚営業所	〈0948〉(26) 3361
久留米営業所	〈0942〉(43) 2441
佐賀営業所	〈0952〉(30) 6603
長崎営業所	〈095〉(882) 6112
佐世保営業所	〈0956〉(33) 4991
熊本支店	〈096〉(389) 4300
熊本営業所	〈096〉(389) 4300
八代営業所	〈0965〉(43) 1000
大分営業所	〈097〉(567) 3320
宮崎営業所	〈0985〉(26) 1236
鹿児島営業所	〈099〉(267) 5234
沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
関東物流センター	〈048〉(771) 3451
関西物流センター	〈0725〉(46) 6715

882484B2

株式会社 マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)